



R560 アクセスポイント クイックセットアップガイド

本「クイックセットアップガイド」には、RUCKUS R560 トライバンド 802.11ax 屋内 Wi-Fi アクセスポイント (AP) を設置して使用し始めるための手順が詳しく記載されています。

注意: AP R560 を動作させるには、SmartZone (SZ) 6.1.1 以降のソフトウェアバージョンが必要となります。

図 1 R560 アクセスポイント: 上面図



本ガイドの他言語版

- 请从以下网站获得该指南的简体中文版 <http://docs.commscope.com/?docs-box>。
- Vous trouverez la version française de ce guide à l'adresse suivante <http://docs.commscope.com/?docs-box>。
- このガイドの日本語版は <http://docs.commscope.com/?docs-box> でご覧ください。
- 이 가이드의 한국어 버전은 웹 사이트 (<http://docs.commscope.com/?docs-box>) 에서 확인하시기 바랍니다.
- Veja a versão em português (Brasil) deste guia em <http://docs.commscope.com/?docs-box>
- Puede ver la versión en español (América Latina) de esta guía en <http://docs.commscope.com/?docs-box>

はじめる前に

RUCKUS 製品を導入する前に、最新版のソフトウェアとリリース文書がそろっていることをご確認ください。

- リリースノートおよびその他の文書は、以下に掲載してあります。
<http://support.ruckuswireless.com/documents>
- ソフトウェアアップグレードは、以下にて可能です。
<http://support.ruckuswireless.com/software>
- ソフトウェアライセンスおよび制限保証の情報については、以下をご覧ください。
<http://support.ruckuswireless.com/warranty>

6.0 HGz AP 用の RUCKUS WLAN 構成

6.0 GHz WLAN を構成する場合は、<https://support.ruckuswireless.com/documents/4017> をダウンロードして参照してください。

パッケージの中身

R560 取り付け用パッケージには、以下の一覧に記載されているすべてのアイテムが含まれています:

- R560 アクセスポイント
- T レールマウント部品 1 個
- ユニット取り外しピン 1 個
- 適合宣言書/規制に関するパンフレット

必要なハードウェア

- 管理用 PC (イーサネットポートと Wi-Fi アダプターが搭載されているコンピュータ)
- CAT 6 (またはそれより上位の) イーサネット ケーブル
- RUCKUS ワイヤレス 48 VDC 電源アダプター (別売り) または 802.3at/bt 準拠の Power over Ethernet (PoE) スイッチまたは PoE インジェクター

オプションのハードウェアとツール:

- RUCKUS Wireless セキュア取り付け用ブラケットキット (ユーザ注文、部品番号 902-0120-0000):
 - セキュア取り付け用ブラケットキットを使用して AP を平らな面に取り付ける場合は、4.75mm (3/16 インチ) ドリルビットの電気ドリルが必要です。
 - セキュア取り付け用ブラケットキットを使用して AP をパイプまたは柱に取り付ける場合は、38.1mm ~ 63.5mm (1.5 インチ ~ 2.5 インチ) のパイプまたは柱、同梱のステンレススチール製クランプ 2 個、およびクランプを締めるためのハンドツールも必要です。

ステップ 1: コンピューターを AP に接続する

1. イーサネットケーブルを使用して、コンピューターのネットワークポートを、AP の PoE ポートに接続します。図 2 を参照してください。
2. AC 電源アダプターの AC ケーブルを手近な保護された電源に接続します。AC 電源アダプターの DC 出力ケーブルを AP の 48VDC ポートに接続します。

注意: あるいは、PoE ポートを PoE インジェクターまたはスイッチと接続すれば、電源供給とネットワーク接続を同時に行うことができます。

注意: 一般的に、スイッチのリンクレイヤー検出プロトコル (LLDP) を有効にしておく必要があります。AP R560 がフルパワーモードで動作するためには、PoE スイッチポートでリンクレイヤー検出プロトコル (LLDP) と PoE/MDI (BT5) を実行する必要があります。

注意: AP を 802.3at PoE で給電している場合は、利用できる機能が少なくなります。詳細については、製品のデータシートを参照してください。R560 がフルパワーモードで動作するように、802.3bt 準拠の PoE スイッチを使用することをお勧めします。

あるいは、コンピューターと AP を以下の方法で PoE スイッチに接続しても構いません。

- a) AP をスイッチポートに接続します。
- b) コンピューターを別のスイッチポートに接続し、IP アドレスを手動で割り当て、AP を構成します。

図 2 下部パネルの R560 AP ポート

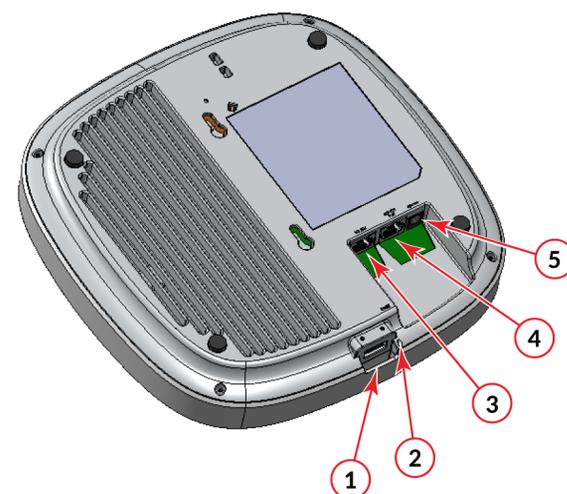


表 1 R560 AP ポート

番号	ラベル	説明
1	USB	USB ポート <ul style="list-style-type: none"> • 45.72 mm (長さ) (本体のみ) x 20.32 mm (幅) x 10.8 mm (厚さ) • インターフェイス: USB 2.0 • コネクタ: USB - Type-A プラグ
2	リセット	リセット ボタン 5 秒未満の短押しでソフトリセット。 5 秒を超える長押しで工場リセット。 細い針などを使用して押せます。

表 1 R560 AP ポート(続き)

番号	ラベル	説明
3	1G ETH	10/100/1000 Mbps ポート: RJ-45 イーサネット ポート (非 PoE)
4	5G ETH PoE	100/1000/2500/5000 Mbps PoE 入力ポート: RJ-45 イーサネット ポート (802.3at/bt+ PoE 対応)
5	48 VDC	48 VDC 入力

注意: AP は起動時の移行中に af モードに入ります。

LED 信号

LED 信号のインジケータ オプションは次のとおりです。

- PWR: 緑、赤
- CTL: 緑
- AIR: 緑、黄
- 2.4G: 緑、黄
- 5G: 緑、黄
- 6G: 青、黄

3. AP の PWR LED ランプが常時緑色に点灯していることを確認します。

ステップ 2: AP のセットアップのためにコンピューターを準備をする

注意: 以下の手順は、オペレーティングシステムが Windows であることを想定したものです。他のオペレーティングシステムの場合も手順はほぼ同じです。

1. Windows PC より、**スタート > コントロールパネル > ネットワークと共有センター > アダプターの設定の変更**に移動し、ローカルエリア接続の設定からネットワークアダプターを構成します。
2. **ローカルエリア接続 > プロパティ > インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) > プロパティ**に移動し、TCP/IPv4 アドレスの設定を編集します。
インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のダイアログボックスが表示されます。

IMPORTANT-QSG: 後で (この作業終了後) コンピューターの設定を元に戻せるように、現在有効になっている設定をすべて書き留めておいてください。

3. **次の IP アドレスを使う**を選択し、(または、既に選択されている場合には) 以下の入力を行います。
 - **IP アドレス:** 192.168.0.22 (または 192.168.0.x ネットワークの任意のアドレス。ただし、192.168.0.1 を除く)
 - **サブネットマスク:** 255.255.255.0
 - **デフォルトゲートウェイ:** 192.168.0.1
 DNS サーバーの欄は空白のままにしておきます。
4. **OK** をクリックして変更を保存します。変更は即座に反映されます。

ステップ 3: AP にログインする

注意: イーサネットポートを経由して管理 PC を AP に直接接続し、電源を入れて、セットアップの準備をしておく必要があります。

1. コンピューターで、WEB ブラウザーのウィンドウを開きます。
2. ブラウザーのナビゲーションバーに、次の URL を入力します。
https://192.168.0.1
3. **Enter** キーを押して接続を開始させます。セキュリティ警告のダイアログボックスが表示された場合には、**OK/Yes** をクリックして進みます。
4. **RUCKUS Admin** ログインページが表示されたら、以下を入力します。
 - **Username:** super
 - **Password:** sp-admin
5. **Login** をクリックします。最初のログインで、デフォルトのパスワードを変更するようにとのメッセージが表示されます。
6. **Change Password** (パスワードの変更) ログインページが表示されたら、以下を入力します。
 - **New Password** (新しいパスワード): 新しいパスワードを入力します。
 - **Confirm Password** (パスワードの確認): 新しいパスワードをもう一度入力します。
7. **Submit** (送信) をクリックします。
8. 新しいパスワードを使用してログインします。

ステップ 4: ワイヤレス設定をカスタマイズする

*6G の構成は CLI 経由でのみサポートされます。6.0 HGz AP 用の RUCKUS WLAN 構成 (1 ページ) を参照してください。

表 2 AP のデフォルト設定 (参考)

設定	帯域	WLAN 名	デフォルトの SSID 名
ネットワーク名 (SSID)	2.4G	wlan0 - 7	Wireless1 - Wireless8
	5G	wlan8 - 15	Wireless9 - Wireless16
	6G*	wlan16 - wlan23	Wireless17 - Wireless24
セキュリティ (暗号化方法)	各ワイヤレスインターフェイスで無効になっています		
デフォルトの管理 IP アドレス	192.168.0.1		

1. Web インターフェイスメニューの **Configuration > Radio 2.4G** または **Configuration > Radio 5G** をクリックします。
Configure > Wireless > Common ページが表示されます。

2. 以下の項目が有効になっていることを確認します。

Channel: SmartSelect

Country Code: 現在の場所が米国以外の場合には、その場所の国コードを選択してください。

3. 設定を変更した場合、**Update Settings** をクリックします。
4. ページ上部の **Wireless #** (Wireless LAN Number) タブのいずれかをクリックします。
5. **Wireless Availability** の **Enabled** をクリックします。
6. **SSID** フィールドのテキストを削除し、ユーザーがワイヤレスネットワークアプリケーションでこの AP を認識しやすくなるように、新たにネットワークの名称を入力してください。
7. **Update Settings** をクリックして変更を保存します。
8. 有効にする **Wireless #** (Wireless LAN Number) インターフェイスそれぞれに対して、この手順を繰り返し実行します。
9. **Logout** をクリックして Web インターフェイスを閉じます。
10. **Ruckus Admin** ログインページが表示されたら、ブラウザーを閉じてください。
11. コンピューターと電源から AP を取り外し、コンピューターを元のネットワーク接続構成に戻します。

ステップ 5: AP を施設内に設置する

1. AP を、所定の設置場所 (電源およびネットワークへの接続が可能な場所) へ移動させます。取り付け方法の説明については、「取り付け方法」を参照してください。
2. イーサネットケーブルを使用し、PoE ポートを次の適切なデバイスに接続します。
 - インターネットサービスプロバイダーまたは通信事業者のネットワークデバイス。
 - インターネットサービスプロバイダーまたは通信事業者のネットワークデバイスと接続されたイーサネットスイッチ。
3. AP 電源アダプター (または PoE 電源) を AP に接続し、電源に接続します。

注意: PoE を使用する場合、AP を PoE スイッチまたは PoE インジェクターに接続するための Cat 5e (またはそれ以上) のイーサネットケーブルが必要です。

4. PoE ポートの LED ランプが点灯していることを確認します。インターネット接続が再度確立されるまでの少し時間を置いた後に AP をテストします。

ステップ 6: 設置を確認する

1. ワイヤレス機能のあるコンピューターまたはモバイルデバイスを使用し、前述で設定したワイヤレスネットワークを探して選択します。
2. 接続したらブラウザを開き、一般 Web サイトに接続します。おめでとうございます! 設定したワイヤレスネットワークは稼働しており、使用可能な状態です。

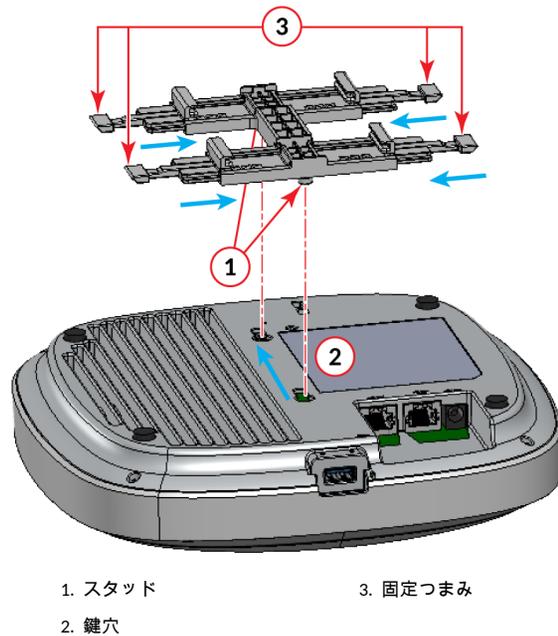
取り付け方法

吊り天井Tレールへの取り付け

付属のTレール取り付け用アセンブリキットを使用すると、埋め込み式の平らな吊り天井のTレールにAPを取り付けることができます。

1. Tレールブラケット(図3の1)の底部にあるスタッドをAPカバー上の鍵穴に入れます。
2. TレールブラケットをAP底面のイーサネットポートと逆の方向にスライドさせ、AP固定つまみが正しい位置に入り、Tレールブラケットのスタッドが鍵穴(図3の2)に掛かった状態にします。

図3 APへのTレールブラケットの取り付け

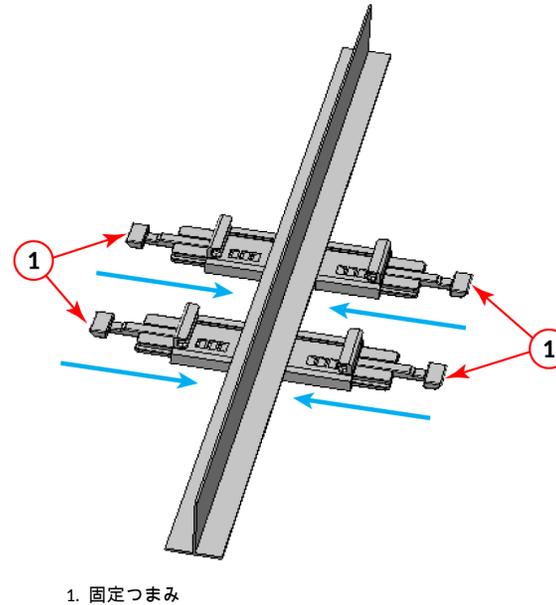


3. 固定つまみ(図3の3)がTレールブラケットの最初の位置になるように挿入します。
4. 天井タイル(ある場合)をそっと押し上げて外します。
5. Tレールブラケットをはめ、2つの留め金がTレール片方の端(図4の1)に掛かるようにします。必ず両方の留め金がTレールに掛かっているようにします。

注意: ブラケット本体の中心線がTレールの中心線と揃っていることを確認します。

6. APを正しい位置に保持し、固定つまみ(図4の1)を、留め金がTレールのもう一方の端に掛かるまでそっと押します。4つの留め金のすべてがTレールに掛かっている必要があります。

図4 TレールへのTレールブラケットの取り付け

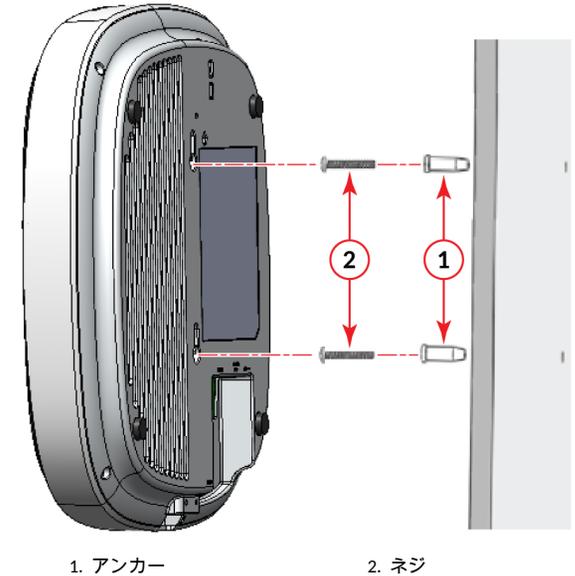


平面への取り付け

出荷時に同梱の取り付けネジとプラスチックのウォールアンカーで、APを壁その他の平面に取り付けることができます。

1. 本クイックセットアップガイドの最後のページにあるマウントテンプレートを使用して、取り付け面の2つの穴をあける場所に印を付けます。
2. 4.75mm (3/16インチ)のドリルビットを使用して、取り付け面に深さ約25mm (1インチ)の穴をあけます。
3. 出荷時に同梱のアンカー(図5の1)と取り付けネジ(図5の2)を取り付け面に挿入します。その際に、APカバーを掛けられるようにネジ頭の約6mm (1/4インチ)を突き出した状態で残しておきます。

図5 平面への取り付け



4. APを、ネジ頭がAPカバー上のキーホールに入るように、取付ネジの上に乗せ、AP固定タブが正しい位置にカチッと入るまでAPを押し下げます。

注意事項

注意事項は、機器を破損する恐れのある潜在的危険について注意を喚起するものです。

注意! 機器は、立入禁止区域に設置することを意図しています。

注意! 本製品は、UL (Underwriters Laboratories) リストに掲載され、クラス2またはLPSとマークされている48 VDC、0.65A定格の電源から給電することを意図しています。

注意! 本機器は、屋外プラントを経由することなくPoEネットワークに接続できます。

補足

AP を設定および管理する方法の詳細については、<http://docs.commscope.com/?docs-box> に用意されている『RUCKUS 屋内アクセス ポイント ユーザーガイド』を参照してください。

© 2022, CommScope, Inc. All rights reserved.

ARRIS、ARRIS ロゴ、COMMSCOPE、RUCKUS、RUCKUS WIRELESS、RUCKUS ロゴ、および Big Dog デザインは、CommScope, Inc. および/またはその系列会社の商標です。Wi-Fi Alliance、Wi-Fi、Wi-Fi ロゴ、Wi-Fi Certified、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected Access、Wi-Fi Protected Setup ロゴ、Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Multimedia および WPA2 および WMM は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。その他すべての商標は、各所有者の専有財産です。

